



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場会社名 ジャパンフーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2599 URL <https://www.japanfoods.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細井 富夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 西田 健一 TEL 0475-35-2211  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,632	2.0	△31	—	154	3.6	148	△13.7
2022年3月期第3四半期	7,480	△20.8	△46	—	149	—	172	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 272百万円 (31.6%) 2022年3月期第3四半期 206百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	30.81	—
2022年3月期第3四半期	35.70	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	21,498	7,393	34.4
2022年3月期	22,178	7,291	32.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 7,393百万円 2022年3月期 7,291百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	17.00	27.00
2023年3月期	—	10.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	17.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	9.6	400	—	550	—	450	26.3	93.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	5,100,000株	2022年3月期	5,100,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	277,113株	2022年3月期	277,113株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	4,822,887株	2022年3月期3Q	4,822,887株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての内容等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和に伴う人流の回復等、経済活動の正常化に向けた動きが見受けられました。一方で、ロシアのウクライナ侵攻に起因したエネルギー価格の高騰や日米金利差拡大に伴う円安を背景とした物価高が続いており、個人消費に与える影響が懸念されるなど、依然として経済の先行きが不透明な状況が続いております。

国内飲料業界におきましては、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和に伴う緩やかな人流の回復に加え、6月下旬からの猛暑による市場の押し上げや、冷夏であった前期反動もありましたが、10月以降で各メーカーが実施した価格改定の影響により、業界全体の販売数量は、前年同期比2%増(飲料総研調べ)にとどまりました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は7,632百万円(前年同期比2.0%増)、営業損失は31百万円(前年同期は営業損失46百万円)、経常利益は持分法による投資利益の増加(当第3四半期連結会計期間では61百万円)等もあり、154百万円(前年同期比3.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失の計上等があり、148百万円(前年同期比13.7%減)となりました。

当社グループでは、「ふ・け・か(防ぐ・削る・稼ぐ)」を更に進化させた「品質経営」を全社推進し、製品・サービスと業務プロセスの品質を高め、無形資産の最大活用に伴うあらゆる生産性の向上、新製品の積極受注や新たな販売領域の創出により、収益を最大化し、財務体質の改善に努めております。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。

#### (国内飲料受託製造事業)

国内飲料受託製造事業につきましては、ウクライナ侵攻に起因した原油価格の上昇等がありましたが、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和に伴う緩やかな人流の回復に加え、猛暑による市場の押し上げ等もあり、生産性の向上と積極的な受注活動を行った結果、当第3四半期連結累計期間における受託製造数は28,680千ケース(前年同期比2.3%増)、セグメント損失は17百万円(前年同期はセグメント損失79百万円)となりました。

#### (海外飲料受託製造事業)

海外飲料受託製造事業(中国、連結対象期間:2022年1月から9月期)につきましては、事業が好調に推移した一方で、新ライン増設に伴うコストが増加したことにより、セグメント利益は144百万円(前年同期比30.5%減)となりました。

#### (その他の事業)

水宅配事業及び水宅配フランチャイズ事業等につきましては、ボトルドウォーターの価格改定等により、セグメント利益は29百万円(前年同期比33.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、4,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ297百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金や電子記録債権が増加したものの、売掛金やその他流動資産が減少したことによるものであります。

固定資産は、17,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ977百万円減少いたしました。これは主に、固定資産の減価償却によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、3,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ721百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金や未払金が減少したことによるものであります。

固定負債は、10,112百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、7,393百万円となり、前連結会計年度末に比べ101百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは2021年3月期、及び2022年3月期の2期連続して経常損失等を計上し、取引金融機関と締結している一部の長期借入金契約に付された財務制限条項に抵触致しましたが、当該事由を以っては期限の利益喪失の権利行使をしないことについて各金融機関から承諾を得ております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,079,826	1,815,945
電子記録債権	699,530	959,747
売掛金	1,802,327	1,219,425
商品及び製品	56,570	19,966
原材料及び貯蔵品	157,715	207,517
その他	217,783	88,603
流動資産合計	4,013,754	4,311,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,710,516	15,684,003
減価償却累計額	△7,720,769	△8,065,946
建物及び構築物 (純額)	7,989,746	7,618,056
機械装置及び運搬具	30,062,717	29,265,781
減価償却累計額	△23,386,545	△23,435,959
機械装置及び運搬具 (純額)	6,676,171	5,829,821
工具、器具及び備品	990,491	975,436
減価償却累計額	△770,364	△800,749
工具、器具及び備品 (純額)	220,127	174,686
土地	484,898	484,898
リース資産	515,138	586,732
減価償却累計額	△105,265	△146,541
リース資産 (純額)	409,873	440,190
建設仮勘定	21,044	22,219
有形固定資産合計	15,801,861	14,569,873
無形固定資産	492,456	434,436
投資その他の資産	1,870,609	2,182,976
固定資産合計	18,164,928	17,187,287
資産合計	22,178,682	21,498,493

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	767,191	917,682
短期借入金	500,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,922,104	1,933,964
リース債務	74,132	85,161
未払金	1,111,929	908,818
未払法人税等	17,233	6,648
賞与引当金	—	24,055
役員賞与引当金	—	5,283
その他	321,259	110,307
流動負債合計	4,713,851	3,991,920
固定負債		
長期借入金	8,710,274	8,656,651
リース債務	314,824	304,582
固定資産撤去費用引当金	396,000	396,000
退職給付に係る負債	99,009	99,554
資産除去債務	652,849	656,176
その他	9	33
固定負債合計	10,172,966	10,112,997
負債合計	14,886,818	14,104,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	628,800	628,800
資本剰余金	272,400	272,400
利益剰余金	6,281,438	6,259,542
自己株式	△264,624	△264,624
株主資本合計	6,918,014	6,896,118
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	382,432	517,564
退職給付に係る調整累計額	△8,582	△20,107
その他の包括利益累計額合計	373,849	497,456
純資産合計	7,291,864	7,393,574
負債純資産合計	22,178,682	21,498,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	7,480,519	7,632,035
売上原価	6,083,629	6,265,027
売上総利益	1,396,890	1,367,007
販売費及び一般管理費	1,443,610	1,398,746
営業損失(△)	△46,719	△31,738
営業外収益		
受取利息	—	40
受取配当金	1,567	—
保険配当金	3,344	3,491
持分法による投資利益	217,060	164,758
補助金収入	13,880	56,253
その他	48,405	31,928
営業外収益合計	284,258	256,471
営業外費用		
支払利息	70,905	60,512
支払手数料	10,910	3,921
その他	6,571	5,838
営業外費用合計	88,387	70,271
経常利益	149,150	154,461
特別利益		
固定資産売却益	476	2,298
特別利益合計	476	2,298
特別損失		
固定資産撤去費用	—	10,035
特別損失合計	—	10,035
税金等調整前四半期純利益	149,627	146,724
法人税等	△22,551	△1,850
四半期純利益	172,178	148,574
親会社株主に帰属する四半期純利益	172,178	148,574

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	172,178	148,574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,120	—
退職給付に係る調整額	6,158	△11,524
持分法適用会社に対する持分相当額	66,684	135,131
その他の包括利益合計	34,723	123,606
四半期包括利益	206,901	272,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	206,901	272,181

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当第3四半期連結累計期間において、総合スクラップ&ビルド計画の対象となる資産の使用状況等を見直した結果、当社グループが保有する一部の有形固定資産の耐用年数を残存使用見込期間まで変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ46,241千円増加しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注4)
	国内飲料 受託製造	海外飲料 受託製造 (注1)	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	7,383,343	—	7,383,343	97,176	7,480,519	—	7,480,519
外部顧客への売上高	7,383,343	—	7,383,343	97,176	7,480,519	—	7,480,519
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	—	12	2,731	2,743	△2,743	—
計	7,383,356	—	7,383,356	99,907	7,483,263	△2,743	7,480,519
セグメント利益又は 損失 (△)	△79,517	207,437	127,920	21,946	149,866	△715	149,150

(注) 1. 「海外飲料受託製造」は、持分法適用会社で構成されております。

2. 「その他」の区分は、水宅配事業及び水宅配フランチャイズ事業等を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△715千円は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去等であり  
ます。

4. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注4)
	国内飲料 受託製造	海外飲料 受託製造 (注1)	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	7,528,923	—	7,528,923	103,111	7,632,035	—	7,632,035
外部顧客への売上高	7,528,923	—	7,528,923	103,111	7,632,035	—	7,632,035
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	—	31	1,115	1,146	△1,146	—
計	7,528,954	—	7,528,954	104,227	7,633,181	△1,146	7,632,035
セグメント利益又は 損失 (△)	△17,316	144,092	126,776	29,303	156,080	△1,619	154,461

(注) 1. 「海外飲料受託製造」は、持分法適用会社で構成されております。

2. 「その他」の区分は、水宅配事業及び水宅配フランチャイズ事業等を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,619千円は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去等であり  
ます。

4. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、第1四半期連結累計期間において、総合スクラップ&ビルド  
計画の対象となる資産の使用状況等を見直した結果、当社グループが保有する一部の有形固定資産の耐用年  
数を残存使用見込期間まで変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「国内飲料受託製造」で46,241千円増加して  
おります。